

「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」の策定について

「多摩ニュータウン」エリアの西に位置する南大沢駅の周辺は、商業施設、生活利便施設、東京都立大学などが集まり、近隣においては「南多摩尾根幹線道路」や「リニア中央新幹線」が将来的に整備されるなど、更なる発展が期待されています。

南大沢駅北側に位置する都有地は、現在アウトレットパークとして利用されており、その借地契約が令和7年に終了するため、今後の土地活用について検討を行っています。

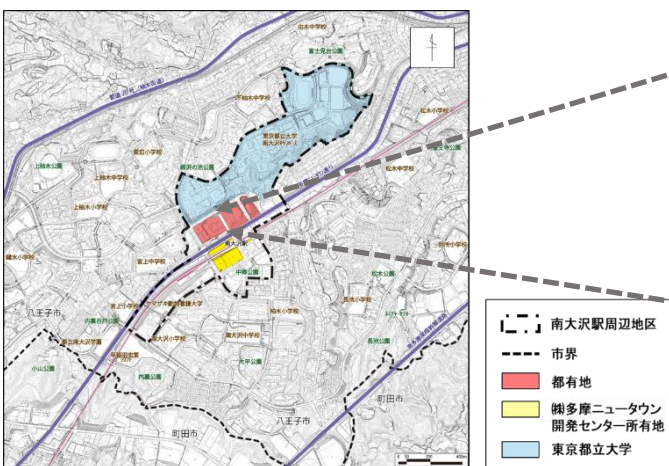
この度、学識経験者・行政からなる「南大沢駅周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会（以下「検討委員会」という。）」の意見等を踏まえ、「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」を策定し、公表します。

1 経緯

令和元年 11月 15日	第1回 検討委員会
2年 2月 10日	第2回 検討委員会
3年 2月 18日	第3回 検討委員会
4年 8月 1日～9月 15日	「南大沢駅周辺地区まちづくり方針（案）」に関する意見募集（パブリックコメント）を実施
4年 11月 25日～12月 23日	「南大沢駅周辺の未来」について小学生・中学生アンケート実施
5年 2月 1日	第4回 検討委員会
5年 3月 31日	「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」策定・公表

2 概要

(1) 本方針における対象範囲（南大沢駅周辺地区）



南大沢駅前大通り（ペDESTリアンデッキ）

(2) まちづくりの将来像

将来像

人々が出会い、交流し、新たな技術によって
多様な住まい方・働き方・憩い方が融合し
進化する、活力と魅力に満ちたまち



(3) 各将来像のイメージ

将来像1 ～憩えるまち～

多様な機能が駅前に集積し、歩きやすく、ゆとりとにぎわいが両立し、活力が生まれるまち

- ◆ 魅力的でゆとりのある拠点形成のための機能の複合化
- ◆ 誰もが豊かさを感じ、自分らしくポジティブに働くことができる環境の整備
- ◆ 落ち着いた街並みの中で歩きたくなる空間の創出



■公園で仕事をしているイメージ



■ゆとりとにぎわいのイメージ

将来像2 ～スマートなまち～

先端技術活用や産学公民連携により、新たな生活様式に対応した持続的な発展が可能な環境が創出されるまち

- ◆ 先端技術活用や産学公民連携の推進
- ◆ 駅前と住宅地間のアクセスの強化



■5Gのイメージ



■自立走行可能なモビリティのイメージ

将来像3 ～多様性のあるまち～

国内外の多様な人々が集い、新たな交流・活動が創出され、安心・快適に暮らすことができるまち

- ◆ 地域コミュニティの活性化と大学などと連携した多文化共生への対応



■イベント・花壇管理のイメージ



■留学生等の交流のイメージ

3 「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」の閲覧方法

都市整備局ホームページの下記リンクに掲載していますので、そちらをご覧ください。

(https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/tama/machizukuri/minamiosawa_guidelines.html)



都市整備局HP